

# だい じ ほっかいどうか ちくかいりょうぞうしょくけいかく 第11次北海道家畜改良増殖計画 そあん がいよう ばん 素案の概要（やさしい版）

«おとののみなさまへ»

この資料は「北海道家畜改良増殖計画」の策定に当たって、  
こどものみなさんの意見を聞くためにつくりました。  
ぜひお子様と一緒に読みください。  
なお、大人向けの意見募集も行っておりますので、下記ホームページをご覧ください。



<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/tss/240376.html>



## 1 家畜の改良ってなに？

家畜とは、牛、豚、馬、にわとりなど、人間の生活に役立てるために飼育されている動物のことです。家畜の改良とは、すぐれた能力を持つ家畜を増やすために、優秀な家畜を選抜し、子どもに能力を引き継がせ、さらに能力を高めていくことを言います。



## 2 なんのために計画を作るの？

長年にわたる関係者の取組により、北海道の家畜の生産性などの能力は大きく向上しました。今後も、消費者から求められる「品質」や「価格」の両面で「強み」のある畜産物を安定的に供給していくために、家畜の能力、体型、頭数などについて、10年後（にわとりは5年後）の目標を定め、関係する皆さんと一緒にになって目標の達成に取り組むために計画を策定します。

### 3 どんな目標を立てるの？



畜産試験場をはじめ、北海道や畜産関係団体が連携して取り組む「能力に関する改良目標」として、生乳を生産する能力、大きく成長する能力、健康な子どもを産む能力、病気に強い、暑さに強いなどの能力の向上に関する目標や、飼養頭数に関する目標を立てています。

また、家畜の能力を最大限発揮させるために、家畜を健康的に飼育する技術など、生産者が「能力を向上させる取組」についても、一緒に記載しています。

### 4 新しい計画のポイントは？



新たに計画において、乳用牛については、経営の安定化に向け、長く健康に生乳が搾れる牛への改良を目指すこととしています。

また、肉用牛については、令和9年度に開催する全国和牛能力共進会北海道大会をきっかけとした和牛の生産拡大に向け、短い期間で大きく育つ牛への改良などをを目指すこととしています。

北海道が作ろうとしている「第11次北海道家畜改良増殖計画」について、この資料を読んで、あなたが思ったことや、考えたことを教えてください！

パソコンやスマートフォンなどから、あなたの意見を簡単に出すことができます！

<https://www.harp.lg.jp/UNFbvTfX>



北海道保健福祉部子ども政策局子ども政策企画課